学校だより

妙髙市立姫川原小学校 第 11 号

平成 25 年 3 月 15 日

電話72-2409

// h imegawa@ac.city.myoko.niigata.jp HP http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/



学年平均十人余りだが、 りとした学年だった。 第六十六回卒業授与式がまもなく行われる。 今回の卒業生は四人というこぢんま 姫小の児童は

その一つ、すべて手づくりの卒業証書づくりである。それが らないのが誠に残念である。 おもしろさを見て触れて欲しい。 来て~」と、大声で叫びたい程の感動に襲われた。色や形の もいえない。これまでにお世話になった方々に、「早く見に ついに完成した。書き終え、枠に入れたときの感動は、何と 最後の今年は、そこを逆手にとった活動をしかけてきた。 その感動が、紙面から伝わ

影響で枝落ちした校庭の桜の枝を利用した。地域の大工さん に負けない輝きだ。 用務員さんだ。見事に磨きあげてくれた。秋田の角館樺細T の匠の技のおかげで形となった。それを繋いだのが、当校の したあおそ百%の卒業証書用の和紙を作ったことだ。 二つ目 今年の特徴は二つある。一つは、夏の暑い日に親子で採集 額も手作りである。材料は校庭の桜の枝だ。昨冬大雪の

をこめてすった。 |書き始めた。久々に硯と墨を出し、濃いめの墨になるよう心 で作り手の思いやパワーが加わり、 人二枚しかない貴重な和紙。 繋いだ作業は多くの方々の手を経て完成した。全ての工程 そして、最後の責任重大な証書文の仕事が自分の番だ。 表面に膠液を塗る余裕もないまま、 和紙特有のにじみが心配され こだわりの卒業証書が完 ついに全文証書文を

この卒業証書を四人は思

い出すであろう。 大きくなり校庭の桜を見る度に、









ンドにて、恒例の地区合同雪上運動会 二月二十三日、姫川原小学校グラウ た地区合同雪上運動会

な降雪のおかけで、スキー滑走コース が開かれました。 配をしましたが、その週に入り、 これまでにない開催が危ぶまれる心

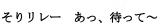
を作ることができました。

も雪国らしく味方をしてくれた一日と **み競争時には青空が見えるなど、** の頬に気持ちよくあたり、 子どもたちの熱戦くり広げるレ 小雪が舞い散る天気です。 トアップした子どもたち 後半の雪積 天気

だきました。皆さんの手際の良さには できるコース取りをし、 目を見張りました。聖火台の前を滑走 の壮年会の皆様のお力でつくっていた 言葉通りの姿を、子どもたちはお見せ のない工夫はさすがでした。 にいたことがうれしかったです。 その **メノーダンプに団旗をはるなど、無駄** 何よりも「七転八起」の言葉をいた 雰囲気を盛り上げる聖火台は、 作業に使った

た。ありがとうございました。 る親も必死です。身を乗り出した皆さ 走の順位のままでなく、登りや下りで も最後まで頑張っていました。 習と違ったハプニングに、 りきったのです。あわててスキ・ んの応援のおかげで盛り上がりまし 入逆転が待ち受けており、 んだり、思わぬところで転んだり、 反達にぬかれても諦めずに最後まで滑 することができました。 子どもたちは、転んでも起き上がり 競技する子どもも応援す 泣きながら





抜きつ抜かれつ滑走レース







異学年のなかよし班活動に力 を入れてきました。そこで、今 年の雪上運動会では、なかよし 班製作のかわいい雪像が、初お 目見えです。溶けかかった体に 朝、お化粧をしてあげました。



学校の話題



2 年生が廊下に輪飾りでありがとうの気持ちを表現したのを皮切りに、『6 年生ありがとう週間』と題した取組が始まりました。

その一つが、給食のランチタイムを利用した会食です。6 年生がそれぞれの教室にお呼ばれする形です。各教室では、学年相応のクイズを用意したり、メッセージを送ったり、それぞれ工夫が見られ、楽しいひとときを過ごしました。

写真は、6年生がお礼にと、マフィンを作り、各クラスや職員のところに、 配りにきてくれたところです。

「6年生 ありがとう週間」楽しく遊んだよ



入賞 おめでとう

第53回 新潟県児童生徒絵画・版画コンクール

版画の部 特選 2年 1名

3年 1名

新潟県硬筆書き初め大会

新潟県書道教育研究会賞 2年 1名

特選 2年 1名

準特選 2年 1名

上国連書き初め認定会

会長賞 3年 2名

4年 2名

5年 2名

ご指導下さった 育成会の皆様はじ め、大会当日のボ ランティアの皆 様、大勢の方々の 協力に心から感謝 申し上げます。

信越学童スキーに出場したよ!

2月15日、信越学童スキー大会が開かれました。当校からは5名の選手が出場しました。2年生の最年少で出場した児童は、3㎞もの距離を走りきり、小さな体に秘めた闘志が見ている人たちの心に感動を呼びました。走っている時刻に合わせて、教室から山に向かって熱いエールを送り続けた2年です。

